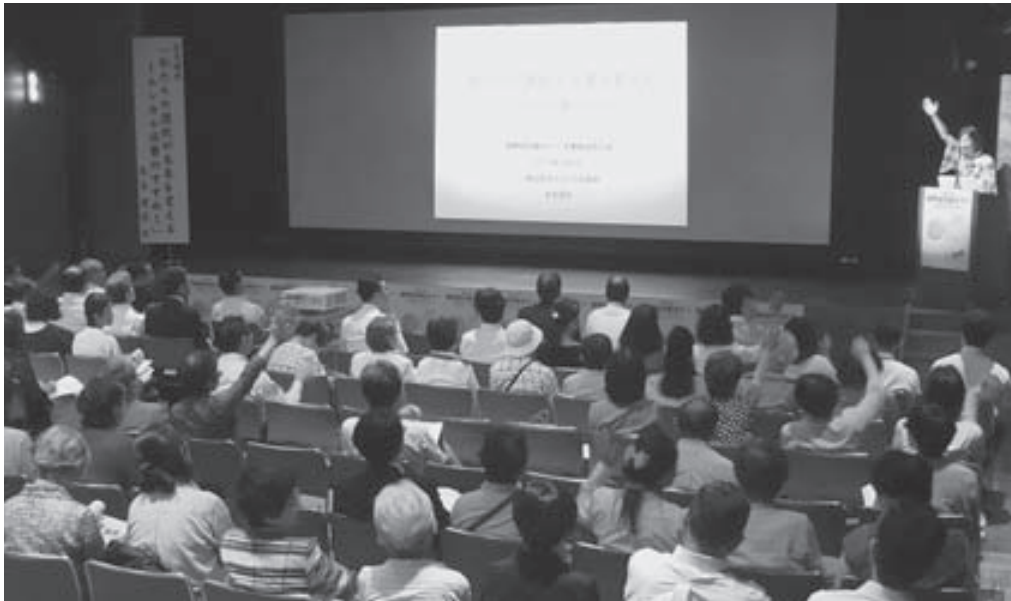




兵協連だより

HYOGO CONSUMERS' CO-OPERATIVE UNION

2019 8



7月5日(金)兵庫県民会館において、「第97回 国際協同組合デー・兵庫県記念大会」が開催されました。県内の生協・農協（JA）・漁協（JF）・森林組合（JForest）の組合員や役職員など、334人がつどいました。また、一般社団法人 エシカル協会 末吉 里花 代表理事が「私たちの選択が未来を変える～エシカル消費のすすめ～」をテーマに記念講演を行いました。（関連ページP.3）





兵庫県森林組合連合会
専務理事

塩谷 元宏

(しおたに・もとひろ)

都市木造ビル 兵庫県林業会館

— 森林の循環利用を目指して —

ある二、四十歳代の世帯数の減少や、住宅ストックの充実・中古住宅の流通



森林は、「植える↓育てる↓使う↓植える」というサイクル（森林資源の循環利用）の中で森林整備を着実に進めることによって健全な森林の保続培養が図られ、国土の保全・水資源のかん養・地球温暖化の防止など、森林の有する多面的機能が持続的に発揮され、また、再生可能な資源である木材の将来にわたる利用が可能となります。この森林資源の循環利用では、利用と再生のバランスが重要です。利用が再生を大きく上回れば、山の荒廃や資源の枯渇を招き、逆の場合は、森林の放置による荒廃や資源の著しい高齢化を招くようになります。今、日本の森林は後者の状況にあり、高齢人工林を適切に伐採して利用し、再び植栽を行うことで、森林の「若返り」と年齢構成の平準化（バランスのとれた年代配分）を図ることが急務になっています。一方、国産材の利用は半数が建築用材であり、このように木材として使いつづける場合は、炭素を貯蔵する「第2の森林」の役割も果たし、地球温暖化防止に大きく貢献します。

しかし、住宅取得の主たる年齢層である二、四十歳代の世帯数の減少や、住宅ストックの充実・中古住宅の流通促進などにより、国産材需要の大半を占めてきた低層住宅での需要が減退していく状況にあります。このため、これまで木造化が進んでいない「四階建て以上の非住宅中高層建築（99.9%が非木造）」を対象に、新たな需要を創出することが極めて重要と考えられます。

このような中、林業会館の建替えに当たっては、厳しい耐火基準のある「都心部防火地域」における中高層オフィスビルへの木材利用促進を目的とし、汎用性を持ち普及促進が期待できる新たな工法の提案に挑戦しました。そして多くの研究者、技術者、技能者、林業木材業関係者のご協力により、「構造材に利用した木材（CLT）」を建物内外から可視化した日本初の中層ビル」が完成しました。床にもCLTを利用して軽量化でき、耐震性能の確保にも有利な構造となっています。

今回の技術により百メートルを超える超高層ビルも建築可能となり、木材利用に大きな展望が開けてきました。この会館をヒントに木造ビル建築技術が発展していくことを期待しています。

なお、建物の詳細は林業会館一階にてパネル展示をしていますので、是非、ご来館ください。

CLT…ひき板を繊維方向が直交するように積層接着した重厚なパネル。強度が高く、断熱性・耐火性に優れ、欧米で急速に普及している。

CONTENTS

2. 想点	6. 協同組合のかけ橋
3. 国際協同組合デー・兵庫県記念大会	7. 兵庫県のページ／ヨッシーの窓
4. 2019年度 兵庫 JCC 第1回虹の仲間づくりカレッジ開催報告	8. 「ひょうごまるごと健康チャレンジ2019」のご案内／県連行事予定／編集後記
5. 単協通信／事務局人事異動あいさつ	

「国際協同組合デー」 兵庫県記念大会」を開催

7月5日(金)、兵庫県民会館 けんみんホールにおいて、「協同の力で未来を拓く」をテーマに、「第97回 国際協同組合デー 兵庫県記念大会」を開催しました。兵庫県、神戸市をはじめ多くのご来賓の皆様をはじめ、兵庫県協同組合連絡協議会(兵庫JCC)を組織する生協、農協、漁協、森林組合の主催団体の役職員、組合員など、334人が参加しました。

世界の協同組合に携わる人々が、平和とよりよい生活を築くために運動の前進を誓い合う「国際協同組合デー」は、毎年7月の第1土曜日と定められており、兵庫県では、この日を受けて、毎年7月に開催しています。また同日に、第36回兵庫JCC委員会が併せて開催され、各協同組合(連合会)のトップが参加。活動報告および年度方針の確認、意見交換などを行いました。

当日は、時本 惇一さん(兵庫県森林組合連合会)の司会で開幕。兵庫県、神戸市をはじめ多くのご来賓の皆様をはじめ、合わせて334人が参加しました。

第一部の記念式典では、主催4団体を代表して兵庫県農業協同組合中央会 石田 正代表理事会長が挨拶。続いて、兵庫県農政環境部 寺尾 俊弘部長、神戸市経済観光局 安原 潤農政担当局長、日本協同組合連携機構 青竹 豊常務理事からご祝辞をいただきました。

最後に、生活協同組合コープ自然派兵庫 正橋 裕美子理事長が「兵庫県下の、農協・生協・漁協・森林組合に集う仲間の大きな力を礎にして、より豊かな人間社会を築きあげるように努力していきましょう」と、「第97回 国際協同組合デー・兵庫JCC宣言」を力強く読み上げ、満場一致で採択されました。

第二部の記念講演では、一般社団法人 エシカル協会 末吉 里花代表理事を迎え、「私たちの選択が未来を変える」エシカル消費のすすめ」と題して記念講演を開催しました。



挨拶する
兵庫県農業協同組合中央会
石田 正 代表理事会長



兵庫県農政環境部
寺尾 俊弘 部長



神戸市経済観光局
安原 潤 農政担当局長



一般社団法人
日本協同組合連携機構
青竹 豊 常務理事



記念講演 講師
一般社団法人 エシカル協会
末吉 里花 代表理事



兵庫JCC宣言を読み上げる
生活協同組合コープ自然派兵庫
正橋 裕美子 理事長

第97回国際協同組合デー兵庫JCC宣言

本日、兵庫県内の生協、農協、漁協、森林組合の協同組合関係者が一堂に会し、心一つに協同組合運動のさらなる発展を誓い合う日を迎えました。

1895年に誕生した国際協同組合同盟は、96年前の1923年、「協同組合運動を全世界で発展させ、その協同組合の理念と価値を広げ、より良い社会を築くことを目指して行こう」と提唱し、毎年7月の第1土曜日を国際協同組合デーと決めました。

あれからおよそ1世紀を経、今や世界107カ国から、生協・農協・漁協・森林組合など、あらゆる分野の308もの協同組合組織が加盟し、組合員総数約12億人(2018年4月現在)を超えるまでに発展しています。

さて、今年5月から新元号「令和」が施行され、日本は新たな時代に踏み出しました。「平成」の時代を振り返ると、戦後最長と言われた景気回復は、私たちの暮らしに実感を伴うことは少なく、デフレ社会が長く続きました。国際情勢の緊張と不安定度も高まりました。また地震や台風等、数多くの自然災害にみまわれる等、元号が希望した「平らかに成る」とは言い難い時代でした。一方で、「支え合い」や「助け合い」、「絆」の力と重要性を多くの人々が実感しました。

私たち協同組合にとっての平成は、国連が定めた「国際協同組合年」やユネスコ無形文化遺産への登録、国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に推進役として明記される等、その活躍への期待と存在が大いに高まった時代でもありました。

新たな時代を迎えたとはいえ、日本が直面するのは、少子・超高齢社会の加速がもたらす誰も経験したことのない社会です。それに伴う社会的孤立や格差、貧困の連鎖といった様々な不安は高まるばかりです。

だからこそ、「助け合いの組織」としての協同組合の役割、真価を発揮していかなければなりません。もちろん、協同組合だけで様々な社会的課題を解決することはできません。新たな時代が願う社会の実現には、協同組合をはじめ、行政やNPO、地域諸団体が、連携・協同を一層進めることが不可欠です。

まさに、私たちの番です。心と力を寄せ合う「協同の力」で、これまでも様々な「不安」を「安心」に変えてきたように、新たな時代も協同組合運動に夢と希望と誇りを持ち、安心してらせる兵庫のまちづくりと協同組合の発展のために、一層努力していくことをここに宣言いたします。

2019年7月5日

第97回 国際協同組合デー・兵庫県記念大会



「第36回兵庫JCC委員会」が開催されました

兵庫JCC =
兵庫県協同組合連絡協議会とは
【Hyogo-ken Joint Committee
of Co-operatives】

兵庫県協同組合連絡協議会(兵庫JCC)は、兵庫県内の生協、JA(農協)、JF(漁協)、JForest(森林組合)の相互交流と連携強化を目的に、1984年7月の第62回国際協同組合デーを機に設立したもので、今年で36周年を迎えました。

～兵庫 JCC 第1回虹の仲間づくりカレッジ～ 開催報告

虹の仲間づくりカレッジとは

「県内協同組合の職員の交流を通じた協同組合間協同の実現」を目的とし、兵庫県生活協同組合連合協議会と生活協同組合コープこうべとの共催で企画した取り組み。

今年度のテーマ

『生産』『環境』『地域のコミュニティ』などが抱える課題を「協同組合が連携し、力を合わせていかに解決するか」という視点で考え、実践につなげる。

2019年度兵庫 JCC 第1回虹の仲間づくりカレッジは、7月11日(木)・12日(金)に、生活協同組合コープこうべ協同学苑にて開催し、生協・農協・漁協・森林組合の職員22名が参加しました。1日目は、参加者の自己紹介後、史料館で「協同組合の歴史と理念」について学習しました。午後からは、各協同組合設立の背景と概要の共有を行い、各協同組合の社会的課題解決の取り組みのこれまでと今後の可能性について各グループごと議論を行いました。



資料館での学習風景

2日目は、日本協同組合学会 会長 田中夏子氏を講師として「いのち・暮らし・社会の危機に対し、協同組合は、何を構想し、どう行動するのか～SDGsの発想を生かし、乗り越える～」の公開講座を開催しました。JA や JF、コープこうべ等からも参加があり関心の高さが伺われました。公開講座に続き、2018年度までのカレッジ生による活動報告が行われました。

午後からは、各グループごとに実践に向けたテーマ決定・テーマに沿った社会課題の洗い出し・取り組み内容の検討と調査計画作成を行いました。また、各グループごとに今後の協同組合の可能性～SDGsを枠組みとして、活発に議論を行いました。

今年度は、第2回を9月6日(金)、第3回を2020年2月13日(木)に予定し、計3回開催予定です。各回の間でテーマに沿って地域課題の調査・企画立案・実践する予定です。



講師 田中夏子氏



これまでのカレッジ生報告



ワークショップ風景

※兵庫 JCC : 3 ページ参照

近畿労働金庫兵庫地区本部

「ろうきん」コンサート2019 『Strings Orchestra Company』 の「」案内

(一財)兵庫労働者福祉基金協会が主催する「ろうきんコンサート」。勤労市民が良質な音楽芸術に親しむ機会を、低廉な料金で提供しています。良い音楽にふれて「暮らしに潤い、人生に喜びを」

ぜひ多くの皆さまのご来場をお待ちしております。

一般財団法人兵庫労働者福祉基金協会は、兵庫労働金庫(現近畿労働金庫)が、1988年に県内の勤労者の福祉の増進をはかるために、また、勤労者の生活向上に寄与することを目的として設立した財団法人です。

ろうきんコンサート2019

Strings Orchestra Company!

～音楽が100倍楽しくなる

知られざるオーケストラの舞台裏～

◆西宮会場

(兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール)
日時:11月20日(水) 19時開演(18時15分開場)

◆姫路会場(姫路キャスパホール)

日時:11月21日(木) 18時開演(17時15分開場)

◆神戸会場(神戸文化ホール 中ホール)

日時:11月22日(金) 14時開演(13時15分開場)

予定プログラム(各会場共通)

「チャイコフスキー弦楽セレナード」1楽章「ヴィヴァルディ 四季(春、冬)」「モーツァルト アイネ・クライネ・ナハトムジーク」1楽章」他

出演

神戸市室内管弦楽団

入場料 1,000円(全席自由)

チケット販売開始 7月17日(水)

●チケットのご購入など、お問い合わせは

一般財団法人 兵庫労働者福祉基金協会

電話:078-371-5795 携帯:090-3263-5795



障がいの有無、演者と観客、垣根なしの自由な一体感が持ち味のコンサート。今年も大いに盛り上がりました。

(通信員 井奥眞貴子)

「もともちハートミュージアム2019」

「」来場ありがとうございました

障がい者アート作品「ドギドギ展」(234名)、コンサート「もともちウキウキ」(約80名)、作業所製品ハートショップなど、多くの方に楽しんでいただきました。皆さまのご来場ありがとうございました。

もともちハートミュージアム2019実行委員会(神戸元町商店街連合会/神戸風月堂/WAKKUN/(社福)えんびつの家/NPO法人拓人こうべ/神戸ゆめ工房/NPO法人リフォーブ/片山工房/NPO法人ネットワーカー/ちゅうおう障害者地域生活支援センター/(一財)兵庫労働者福祉センター/(二社)ひょうご部落解放・人権研究所/(一財)兵庫労働者福祉基金協会/こくみん共済coop兵庫推進本部/近畿労働金庫兵庫地区本部)

兵庫県生活協同組合連合会より

～事務局人事異動あいさつ～

●退任のご挨拶

田中 浩太郎



着任前、生協のことならある程度理解していると自負していましたが、まさに分からないことだらけ、学ぶことだらけの日々でした。一番の思い出は、昨年スタートした「ひょうごまるごと健康チャレンジ」です。「健康づくり」は全ての人の共通課題、関心事です。ぜひ、生協を真ん中に、県民運動レベルにまで拡大して欲しいです。一緒に取り組むことで協同組合間の相互理解はもちろん、行政・諸団体の理解や連携促進にも繋がるものと確信しています。この2年間、大変お世話になりました。生協を始め、協同組合の価値や役割発揮への期待が一層高まる中、みなさまの益々のご活躍とご発展を心からお祈りしております。

●離任のご挨拶

村上 一朗



このたび、コープこうべ組織管理部 財務人材管理に異動することになりました。会員生協・団体、の皆様からいろいろとご協力・ご指導いただきありがとうございました。兵協連に着任して、あっという間の1年1か月でしたが、初めての経験ばかりで、非常に勉強になりました。心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

●就任のご挨拶

松岡 久雄



このたび兵庫県生協連専務理事を拝命した松岡久雄でございます。少子高齢化と人口減少、情報化などに伴う買い物や子育ての環境、介護福祉などにおける社会的課題に対して、それぞれの生協の努力だけでなく、同じ思いの下連携し、互いの強みを生かしながらつなげる力で突破することが求められているのではないのでしょうか。起きている変化が速く予想のつかないことも多い中、生活者の視点で現場の総合力を高め適応できるよう、相互交流や実践の機会づくりなどに全力を尽くしてまいります。会員生協や関係者のみなさまのご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

●着任のご挨拶

中村 直也



このたび、コープこうべより着任いたしました、中村直也と申します。コープこうべには2011年入所で、これまでは宅配事業に携わってまいりました。宅配事業の中では、多くの組合員と直接関わり、生協の良さを身をもって体験してまいりました。今回の異動は私を大きく成長させるチャンスであり、新たな生協人生のスタートにしたいと考えております。ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、会員生協や関係者のみなさまと共に歩んでいけるよう、精一杯役目を務めさせていただきます。ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

協同組合のかけ橋

JF

JF 兵庫漁連

関西学院大学田和ゼミ（文学部） との消費流通検討交流会を開催 ～のり養殖について学習～

摂津播磨地区漁業協同組合青壮年部連合会（大西 正起会長：JF 伊保）は、関西学院大学文学部田和 正孝教授のゼミ生との交流を平成25年から続けており、今年は6月26日(水)に「消費流通検討交流会」と題して関西学院大学 西宮上ノ原キャンパスにて開催しました。

今回は、兵庫県の主幹漁業のひとつであるのり養殖について学習してもらうこととなり、JF 兵庫漁連のり海藻部 藤原紘希主任より、カキ殻糸状体培養から陸上採苗、育苗から冷凍入庫から本張り・摘採といったのり養殖・板のり生産工程と、JF 兵庫漁連で行われるのり共販を経て消費者の元へ届く流通販売工程が説明されました。板のり生産の説明時には、のり生産者の青壮年部員が生産に係る水道代や機械を動かす電気代などの経費についてや、海上作業など生産現場の苦労話を説明しました。

その後、ゼミ生と青壮年部員は関学生協食堂へ移動し、兵庫県下で獲られた生しらす・ポイルシラス・焼きアナゴ・カキのジェノベーゼ等を堪能しつつ、漁業や漁場環境について意見交換を行いました。

この活動を通じて卒業論文のテーマに漁業を選ぶゼミ生が現れるなど、漁業への関心を深めています。漁業者自らが、現場の生の声を学生たちに伝える素晴らしい活動はこれからも続きます。



田和教授（左）と
大西会長（右）



関学生協食堂での意見
交換

JA

JA あかし

「JAあかしの子会社 地域農業の担い手に」

JA あかしの子会社である(株)クローバーファーム JA あかしは、平成29年10月に設立されました。農業者の高齢化や後継者不足といった先行きに「不安」を感じる状況の中で、同社では地域との「農」を通じた関わりを重視しながら、地域農業の担い手となる農業法人を目指しています。

JA の子会社である強みを生かして、ビニールハウス2棟を設置し、多くの種類の野菜を栽培しています。生産した野菜はJA 直売所4店舗へ出荷する他、4カ所の支店でも販売し、JA と連携した販売拡大に取り組んでいます。農産物には「クローバーマーク」のシールを付けて販売しており、同社が生産した農産物だと一目で分かるようにすることで、認知度が上がるよう取り組んでいます。

また、農業体験イベントを通じて、次世代に向けた食農教育も行っています。主に親子連れを対象に、田植え、野菜の定植・収穫等の体験を実施しており、昨年度は約1000人の参加がありました。今年の6月には、サツマイモの植え付け体験を行い、地域の子供たちと触れ合いながら、農業に興味を持ってもらうきっかけを提供しています。

今後は、さらなる安全安心な農産物を提供するため、有機JASとJ-GAPの取得を目指し、地域の農業を守るための活動を続けます。



(株)クローバーファーム JA あかしで育成したオクラの苗を畑に
定植



消費者力アップ！体験学習会

消費生活総合センターでは、身近な食べ物や生活用品を消費者目線でテストしたり、お金やインターネットトラブルなど消費者トラブルについて『体験』しながら楽しく学べる「消費者力アップ体験学習会」を行います。リニューアルオープンした当センター内の『消費生活情報プラザ』で、子どもから大人まで利用できる楽しいメニューを体験してみませんか。

- 実施期間：令和元年8月～令和2年3月
- 実施場所：県立消費生活総合センター消費生活情報プラザ
- 対象：兵庫県内在住・在勤の消費者
(原則4名以上20名程度のグループ)
- 参加費：無料
- 体験学習会のメニュー例
 - ・商品テストメニュー
「食品の糖分・塩分」「家庭に身近な化学物質」
 - ・消費者教育メニュー
「カードいろいろ」「食べ物を大切に（食品ロス）」など
- 申込期限：開催日の1カ月前

その他、申込み方法や体験学習会のメニュー例など、詳しくは、兵庫県立消費生活総合センター ホームページをご覧ください。

【申し込み・問い合わせ先】

〒650-0046 神戸市中央区港島中町4丁目2
消費生活総合センター学習交流推進課 消費者力アップ体験学習会担当まで
電話：078-302-4001
FAX：078-302-4002

(兵庫県立消費生活総合センター)

適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

ヨッシーの窓

みなさま、こんにちは。適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネットの吉江直記です。

さて、前回、こんなお話をしていました。消費者トラブルに遭ってしまって、消費生活センターで相談をし、交渉を手伝ってもらっても、解決に至らない場合があります。例えば、クーリング・オフをしたのだけど、事業者がこれを認めず、争っているような場合です。こうなると、裁判をして解決しようと思うことになります。ここで、弁護士や司法書士に相談してみるという話が出てきます。

では、どうやって、弁護士や司法書士にたどり着くのかというと、お知り合いがいる場合を除いて、多くの場合、弁護士会や司法書士会の運営する相談会で、まず相談してみるようになります。このような相談会を通じて、個々の弁護士や司法書士にたどり着きます。

弁護士や司法書士は、相談を受け、依頼を引き受けると、あらためて、事実関係を確認し、法律関係を整理して、よりよい解決の方法を探します。その中で、裁判をすることもあります。

さて、このような経過をみて、どう思われますでしょうか。私は、時間がかかるなあ、長いなと感じてしまうのです。私も相談することを諦めようかと思ってしまうかもしれません。字数がきてしまいました。この続きは次回に書かせてください。

(ひょうご消費者ネット 理事 司法書士 吉江直記)



ひょうご消費者ネット
連絡先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通五丁目7番11号兵庫県母子会館2階C
TEL：078-361-7201 E-mail：office@hyogo-c-net.com

MOVE

～ひょうごまるごと健康チャレンジ2019～

ひょうごまるごと健康チャレンジ2019

健康習慣 はじめてみよう!

毎日じゃなくても大丈夫! **30 times**

毎日小さな積み重ねが 将来の健康をつくれます。 8つのコースから 選んでチャレンジ!

【はかるって いせつ!】

【はかるさんコース】

⑤食べ方をはかろう
⑥血圧をはかろう
⑦歩数と体重をはかろう

【いどむさんコース】

⑧チャレンジする内容を自由に設定しましょう

参加無料
抽選でうれしい賞品も!

チャレンジ期間 2019年12月31日(火)まで
期間中のお好きな30日 ※連続する30日でなくてもOK!

結果を報告していただいた方の中から 抽選で合計200名様に 3,000円分のJTBギフト券プレゼント!
抽選は2回(8/10・31)各分まで(各200名/100名分まで)

さあ! はじめてみよう!!
WEBエントリーまたはパンフレット付風の「チャレンジ宣言」を送ってください。
WEBエントリーがおススメです
<https://health-challenge.jp/hyogomarugeto>

CO-OP共済 健康づくり支援企画の助成を得て実施しています。

チャレンジ期間は、12月31日までです。
参加無料!

◎期間中のお好きな30日、連続する30日でなくてもOK!

下記の8コースの中から今あなたに必要なコースをえらんでチャレンジしてください。

【はじめさんコース】

- ①あいうべ体操
- ②外出やおしゃべり
- ③禁煙や適度な飲酒
- ④正しい手洗い

【はかるさんコース】

- ⑤食べ方をはかろう
- ⑥血圧をはかろう
- ⑦歩数と体重をはかろう

【いどむさんコース】

- ⑧チャレンジする内容を自由に設定しましょう

チャレンジシートは、コープこうべや各医療生協等で入手できます。シートが手に入らなくてもWEB登録による参加が可能です。

登録はこちらから→



さあ、あなたも健康習慣はじめてみよう!

県連行事予定

- 8月5日(月) 兵協連 第2回理事会・兵庫県企画 県民部と兵協連理事会との懇談会 (県民会館 1201)
- 8月21日(水) ピースアクション2019 「舞鶴引揚記念館」 (京都府)

編集後記

7月5日(金)国際協同組合デー・兵庫県記念大会で、エシカル消費について、記念講演がありました。エシカル消費は、「国や企業が主導するのではなく、私たち一人ひとりが意識を持って行動することが、地球全体の環境を守っていくことにつながる」ということを学びました。毎日の行動の積み重ねが大きなことにつながることを改めて認識しました。皆さんも自分にできることを一つでも行動に移してみませんか。今回で兵協連だよりの担当が最後になります。通信員の皆様には、いろいろとお世話になりました。ありがとうございます。お礼申し上げます。(村上)

